



美しい響きと音色で人々に感動を！  
(港南中学校吹奏楽部 12月6日)※14ページに関連記事を掲載

# いよ

# 令和4年冬号 議会だより

## 12月定例会

【常任委員会報告】秦皇山公園水道施設給配水管布設替工事  
工事の詳細と旧配水管の処理は？

2

一般質問 8人が市政を問う

4

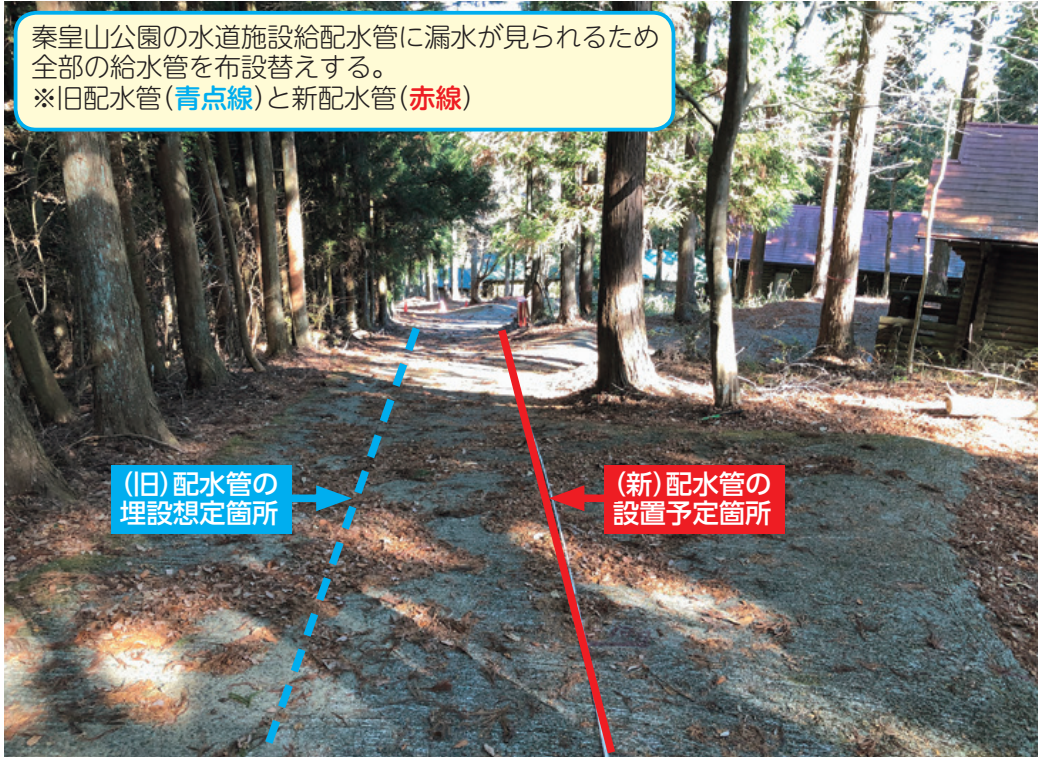
【連載企画③】  
議員のよこがお

13

【新連載企画①】きらきら・部活い〜よ 港南中 吹奏楽部  
人に感動を与えられる音楽をつくりたい！

14

# 工事の詳細と旧配水管の処理は？ 全配水管の布設替えを行い、旧配水管は残置する。



秦皇山公園の水道施設給配水管に漏水が見られるため  
全部の給水管を布設替える。  
※旧配水管(青点線)と新配水管(赤線)

## 産業建設委員会

秦皇山公園水道施設給配水管布設替工事

**問** 配水管に漏水が見られることによる布設替工事とのことだが、工事の詳細は。

**答** 現時点の調査で漏水場所や箇所数は特定できていない。布設後30年を超え、劣化も著しく、今後も様々な箇所で漏水が発生することが想定されるため、旧配水管は残して全長250メートル全部の配水管の布設替えを行うものである。

**問** 新しい配水管は、今後、震災等が発生しても壊れない素材なのか、また、旧配水管をそのまま残置する理由は。

**答** 今回使用する配水管は、ポリエチレン製でフレキシブルに曲がるタイプのものであり、震災等が発生しても影響はないと考えている。また、旧配水管は遊歩道から、撤去する場合、舗装面の剥ぎ取りと再舗装が必要となり、工事が多額になってしまいうえ、硬質塩化ビニール管であるため、腐食することがないことから、残置する判断に至った。

キャッシュレス決済プロレミアム還元事業

**問** この事業はPayPayで決済を行った場合、利用者に20%分のポイントが還元される事業であるが、利用実績とその効果は。

**答** 利用実績として、市内で1000平方メートルを超える大型店を除く、コンビニ・薬局等の小売店を中心に約200店舗が事業に参加し、全店舗の平均でPayPay決済が約4倍に増えるとともに、一部の店舗から売上げ自体が急激に伸びたとの声をいただ

利用実績として、市内で1000平方メートルを超える大型店を除く、コンビニ・薬局等の小売店を中心に約200店舗が事業に参加し、全店舗の平均でPayPay決済が約4倍に増えるとともに、一部の店舗から売上げ自体が急激に伸びたとの声をいただ

ている。また、事業の運営を委託したPayPay(株)から、他の自治体と比較しても利用の伸びが非常に大きなものであったとの報告を受けていることから、マイナンバーカードのポイント付与の時期も見据え、QRコード決済や電子マネー決済ができる店舗を増やすなど、キャッシュレス化の一層の推進に取り組みたい。

## 総務委員会

### 職員の特殊勤務手当

**問** 家畜伝染病のまん延防止作業等を行う職員と新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対応する職員に対し、特殊勤務手当を追加するものだが、名称を感染症防疫手当から防疫等作業手当に改め

た理由は、

### 答 総務課

現行条例では、感染症の

みに対応するものであったが、これ以外に家畜伝染病のまん延防止作業にも支給することができるよう名称を改正した。

**問** 支給額、業務内容及び支給基準は。

### 答 総務課

人事院規則と県条例に準じた改正内容であり、実際の作業は県の指示のもと実施することが予想されるため、手当の支給についても県の基準に準ずる予定である。

### 組織条例の一部改正

**問** 令和4年度の組織機構の見直しに伴うものだが、今回の主な変更点は。

### 答 未来づくり戦略室

現在の特命プロジェクト推進部と未来づくり戦略室の主要な業務を一体的に取り組み部署として企画振興部を新設する。その他、総務部から情報化、統計、市

民参画・協働、ふるさと納税等の業務を移管する。今後、光ファイバ網の整備と合わせ、その活用策を検討し、移住定住、ふるさと納税等の各施策も一体的に取り組むことにより、効率的・効果的な業務推進を図りたい。

**問** 今回の機構改革で目指す組織体制は。

### 答 未来づくり戦略室

限られた職員数に比して、業務量が増加している現状の中、効率的・効果的な業務推進、並びに新設する企画振興部等、各部署の長がしっかりと情報共有できる組織体制の構築に努めたい。

## 民生文教委員会

### 小児科新規開業促進事業費補助金

**問** 小児科閉院に伴う補助事業が、なぜこの時期になったのか。

### 答 子育て支援課

病児病後児保育事業の運営を継続するため、早い時期に小児科医を誘致する必要が生じ、この時期での予算計上となった。

具体的な要件として、小児科を主たる診療科とする医師、または医療法人で開業後10年以上の診療の継続や65歳以下の年齢、健康診査や地域医療への協力を想定している。

### 訓練等給付費の就労支援A型

**問** 就労支援の報酬の計算方法は。

### 答 福祉課

就労支援A型では2時間未満、2時間から3時間未満など平均労働時間に応じて段階が決められていたが、今回の報酬改定では、段階を設けず、就労の状況に応じて点数を付けるスクア方式に変更になった。

## 議案等議員別表決結果一覧表

※日野猛仁議長は採決に入っていません。

令和3年第6回(12月)伊予市議会定例会  
[会期：11月29日～12月17日 19日間]  
○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	議席番号	氏名	議決結果														議決日				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		15	16	17	
議案第96号		田中慎之介	○	棄	○	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12月17日
		金澤功																			
		正岡満																			
		森川建司																			
		吉久俊介																			
		川口和代																			
		向井哲哉																			
		平岡清樹																			
		大野鎮司																			
		高田浩司																			
		門田裕一																			
		北橋豊作																			
		日野猛仁																			
		谷本勝俊																			
		佐川秋夫																			
		武智実																			
		田中弘																			

[賛否の分かれた案件のみ記載しています。その他案件についてはすべて全会一致で可決されました。]

# 一般質問

# 8人が市政を問う

12月定例会では、8人の議員が25問の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。全質問項目は下表をご覧ください。8ページから質問した議員ごとに2問の質問を要約してお伝えします。なお、全文記録(議事録)は2月上旬に市ホームページ(<http://www.city.iyo.lg.jp>)の会議録検索システムにて掲載しますのでご覧ください。

※本人写真については、アクリル板越しの撮影であるため、機器の写りこみ等がありますがご了承ください。

伊予市議会



- |                 |   |
|-----------------|---|
| 川口 和代 議員 (P 5)  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について</li><li>2 生理の貧困について</li><li>3 子育ておむつ事業について</li></ol>   |
| 大野 鎮司 議員 (P 6)  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 詐欺から高齢者を守ろう</li><li>2 重すぎるランドセル・カバンについて</li><li>3 3万人が住み続けられる伊予市へ(情報収集、発信、共有編)</li></ol>                                      |
| 金澤 功 議員 (P 7)   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 伊予市公営住宅等長寿命化計画等について</li><li>2 伊予市成年後見制度利用促進基本計画等について</li></ol>  |
| 門田 裕一 議員 (P 8)  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種(H P V)ワクチンについて</li><li>2 3歳児健診の視覚検査に屈折検査の導入を</li><li>3 我がまちの防災・安全・安心対策について</li></ol>                      |
| 森川 建司 議員 (P 9)  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 介護給付費の削減を</li><li>2 来年度予算は義務的経費を減らし、投資的経費の増額を</li><li>3 拉致問題早期解決のために</li><li>4 安心・安全について</li><li>5 幸福度の高い街ランキングについて</li></ol> |
| 正岡 満 議員 (P 10)  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 道路反射鏡管理台帳作成について</li><li>2 粗大ごみ不法投棄に関する対処について</li><li>3 市道180号(稻荷下三谷線)の路面改修について</li></ol>                                      |
| 田中慎之介 議員 (P 11) | <ol style="list-style-type: none"><li>1 通学区域制度の弾力的運用について</li><li>2 再生可能エネルギー活用へ向けて</li><li>3 伊予市「夜間避難訓練」の実施を</li></ol>  |
| 田中 弘 議員 (P 12)  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 光ファイバの整備について</li><li>2 脱炭素社会の実現に向けて</li><li>3 有害鳥獣捕獲について</li></ol>  |

『色付きの質問』は、次ページ以降に掲載しています！

3月定例会の日程は2月初旬頃にホームページで掲載予定です。広報いよし2月号でもお知らせします。



ひの議長

※通告順(発言順)に掲載しています。

# コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度） 導入を検討しては？

川口 和代 議員



**（答弁） 段階的に検討していきたい**



コミュニティ・スクールのイメージ図

**問**

11月の愛媛新聞に  
コミュニティ・ス  
クール（※）に指定された  
公立学校は全国で1万校  
を超え、その割合が33%  
まで上昇したと掲載され  
ていた。9月に「コミュニ  
ティ・スクール推進フォー  
ラム」に参加した際、改め  
てその必要性を強く感じ  
た。

本市には、佐礼谷小と  
「住民自治されたに」、翠  
小と双海地区の地域愛の  
繋がりが、また、港南中では、

「地域の人に学ぼう」とい  
う取り組みもある。

コミュニティ・スクー  
ルを導入することで、さ  
らに地域と学校が一体と  
なって、「地域とともにあ  
る学校づくり」を進めて  
いくことができる。また、  
学校が児童・生徒だけで  
なく地域住民の「学びの  
場」として活力を生み、地  
域の活性化に繋がると考  
える。

**答**

市内各校区  
の現状とし  
て、コミュニ  
ティ・スク  
ールの基盤と  
なる学校や地域コ  
ミュニティの規模  
も性格も様々であ  
ることから、各地  
域の実態に合わせ  
て、じっくりと熟  
議を重ねる必要が  
ある。

また、すでに学  
校と地域の連携の  
機会として、学校  
関係者評価委員会、学校  
評議員制度等の多くの協  
議体も実際に推進されて  
おり、学校や保護者、地  
域の負担とならないよう  
既存の会合の整理・統合  
をしていくことは肝要で  
あると考えている。

## 子育ておむつ事業

**問**

他の自治体では、  
子育て世帯に対し、  
様々な特色ある応援事業  
を行っている。本市も独  
自の応援事業を行ってほ  
しい。例えば、不妊治療  
で苦勞して第一子を授

けた委員（地域住民や保  
護者）が一定の権限を持  
って学校運営に参加できる  
学校運営協議会を設置し  
た学校のこと。

**答**

愛顔の子育て応援事業の  
拡充が必要である。

かった家庭もあるため、  
第一子にも5万円分の紙  
おむつ券を交付してはど  
うか。それが無理ならそ  
れに代わるお祝いの品な  
ど用意できないか。

第一子への紙おむつ券  
やお祝いの品の提供を持  
続的な事業とするには、  
毎年想定される財政負担  
に鑑み、県による愛顔の  
子育て応援事業の拡充が  
必要である。

そのほかの質問  
として、「生理の  
貧困について」  
と題し、伊予市  
の現状について  
問いました！



ほかに、①個別配達便などで  
紙おむつ引換券を使用できる  
ようにしては。②宅配便券をプ  
ラスしてはと提案しましたが、  
残念ながら同様に愛顔の子育  
て応援事業との一体的な検討  
が必要であるとの回答でした。

詐欺から高齢者を守ろう

# 「見守り」の一環で対応しては？

大野 鎮司 議員



## (答弁) 新たな見守りネットワーク体制を構築する

問

これまで多くの高齢者から、各種特殊詐欺などの相談を受けるたび「絶対に返信、電話はしてはいけない」と注意喚起し続けてきた。

先日「送り付け商法」の相談を受け、現場で確認した際、想像をはるかに超えた大量の郵便物が届いていた。家族が近くにて相談できる方はまだしも一人暮らしで近くに家族がいない方は特に心配である。郵便サービスを使った特殊詐欺を防ぐためには、本人の注意だけでなく周囲の気付きや声かけが重要である。

その対策案の一つとして、高齢者見守り員や民生児童委員の方などに対し、見守り活動の一環として協力していただけないか。

答

本市では、高齢者者と接する機会が多い地域包括支援センターや民生児童委員協議会におい

て、詐欺防止に関する研修会を定期的に開催するとともに、訪問先で詐欺被害の疑いを発見した場合は速やかに関係機関に連絡・相談を行っている。現在、行政・警察・地域・関係機関・民間事業者など、多様な主体が連携して見守り活動を行う「消費者安全確保地域協議会」の設立準備を進めている。高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができ、新たな「見守りネットワーク体制」を構築したいと考えている。

令和2年度における県の特殊詐欺の被害状況は**42件、被害額9,158万円**です。(※実際の被害件数と被害額は公表数を大きく超えると言われていました)また、全国の総件数**1万3,550件**のうち65歳以上の高齢者が被害にあった割合は**85.7%**に達しています。



重すぎるランドセル・カバン

問

通学時における小中学生のランドセル・カバンが以前からかなり重たいという意見が保護者から出ており、特に中学生は自転車通学の際、バランスが悪くなることで交通事故の危険性もある。

答

最善策を調査研究していきたい。

解決策として、最近導入したタブレットをうまく活用すれば、より多くの教科書類の置き勉(学校保管)が可能になり、さらに家庭学習もよくなるのでは。

タブレット活用が始まって3か月だが、まずは、タブレットに慣れること、安全に使えることを目標に、実態に合わせて計画的に指導を進めているところである。家庭学習の内容によっては、タブレットでの学

習が可能かと思われるが、現在、個々のタブレット活用能力が家庭で1人で対応できるまでには至っていない児童生徒もいることなどから、家庭学習をタブレット活用に現段階で切り替えることは難しい状況である。

今後、各学校の児童生徒を対象に、日頃のカバンの重さに関するアンケート調査を行うなど、実態把握に努め、置き勉した場合のタブレットの有効活用については、学校現場と情報交換しながら、最善策を調査研究していきたい。



タブレットや水筒を通学用カバンに収納すると10kgは軽く超えるため、徒歩通学は大変である。また、自転車通学の生徒はさらに交通事故の危険性もある。

## 市営住宅ストック総合活用計画(前計画)

# 給湯設備の設置状況は？

金澤  
功  
議員



## (答弁) 施工面の課題と予算確保の点から進んでいない

### 問

現在の「公営住宅等長寿命化計画」の前計画である「市営住宅ストック総合活用計画(平成23年～令和2年度)」について、目標整備水準では、既存の市営住宅の鳥ノ木団地と寺尾団地260戸に対し給湯設備を設置することになっている。

計画期間中における進捗状況は。

### 答

前計画では、鳥ノ木団地に、浴室・洗面・台所に給湯する3点給湯設備の設置計画があった。しかし、給湯設備は、供用当初から入居者の負担により設置・管理をしている。それらを撤去し、3点給湯を行うためには、全面的な水道管の配管替えが必要であることや居住しながらの工事となることなど、施工面の課題と事業予算の財源確保の点から改修は進んでいない。

進んでいない。



市営寺尾団地(中山町出淵)



市営鳥ノ木団地(下吾川)

### 問

住居の浴室に浴槽設備の設置が常備化されている現代において、鳥ノ木団地と寺尾団地に浴槽が未設置である法的根拠と現状における浴槽の設置数、撤去数の把握は。

把握は。

### 答

国の法改正前に整備されているため未設置である。

浴槽の設置は、平成10年に国が定める公営住宅等整備基準が一部改正され、入浴設備の設置が義務付けされたが、当該団地はこれ以前に整備されたため、未設置であったと考えられる。入居者の浴槽設置数の把握はしていないが、ほとんどの方が設置されていると思われる。撤去については、退去時、一律に求めているが件数は把握していない。

市営住宅は公営住宅法で「国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する」となっています。しかし、約半世紀に渡り一般化している給湯設備や浴室の浴槽の設置がなされていない現状ではないのかの疑問が残ります。また、SDGsの理念から法的根拠のない「入退去ごとに入居者負担による設備の設置や撤去」よりも「市による一斉設置」が入居者の負担減になると同時に合理的と言えます。



## 伊予市成年後見制度 利用促進基本計画

### 問

国が平成29年から令和3年度までの5年間として定めている「成年後見制度促進計画」は、各自治体に対して「成年後見制度利用促進基本計画の策定」と「主体的かつ主体的にその地域の特性に応じた施策を実施する」責務を有するとされている。

計画最終年度の現在における進捗状況は。

### 答

地域福祉計画に盛り込むよう準備している。

成年後見制度利用促進基本計画の策定は、支援を必要とする方を適切に成年後見制度に繋ぎ、市民の権利を守る点において重要であると認識している。

現在、改訂作業中の伊予市地域福祉計画に盛り込むよう準備しているところである。

# 3歳児健診の視覚検査 屈折検査の導入を！

門田 裕一 議員



## (答弁) 早急に屈折検査を実施したい

**問**

(公社)日本眼科医会によると3歳児

における弱視の有病率は2% (50人に1人は弱視)である。満3歳から3歳半頃に異常を発見し、治療を継続すれば、6歳までにほとんどの幼児が0.8以上の視力に戻り、学校生活で支障ない状態になることができる。つまり、3歳児健康診査で弱視を発見し、早く治療を開始しないと、大人になってからでは手遅れになる。この視力異常を効率よく、見落としがないように検出するには、通常の視力検査に加え、「屈折検査」の導入が有効だと言われている。

本市も3歳児健診の視覚検査に屈折検査を導入しては。

**答**

現状における視覚検査の課題や屈折検査の必要性について提言をいただいたが、これらを踏まえ、本市におい

ても早急に屈折検査を実施したい考えである。

令和4年度予算への屈折検査機器「スポットビジョンスクリーナー」導入について検討するよう、担当課に指示をしたところである。

今後、屈折検査を実施することによる3歳児健診の精度を上げることで、子どもの眼の異常の早期発見が可能となり、視力の健全な発育に取り組み所存である。



令和4年度導入予定の屈折検査機器「スポットビジョンスクリーナー」

まだ視力検査ができない乳幼児(生後6か月)の検査を瞬時に行うことができる機器である。検査前に目薬をさしたりする処置もなく、大きな機械の前に座ってレンズをのぞき込むようなこともせずに、近視・遠視・乱視などの屈折異常や屈折の左右差、瞳孔不同、斜視などを瞬時に発見できる。

## HPVワクチンの 定期予防接種

**問**

国はこれまで8年以上の間、無料接種のチャンス逃してきた女性に対し、無料接種の再チャンス(キャッチアップ接種)を与える救済措置が予防接種・ワクチン分科会で検討されると報道で流れた。

昨年10月から本年9月までの1年間、定期予防接種の案内をした小学6年生から高校1年生の女子のうち、接種を受けた延べ人数は。

**答**

延べ人数は135人である。

昨年10月から本年9月末までの接種延べ人数は135人である。これは、接種勧奨が中止されて以降、例年数人程度の接種者数であったものから大幅な増加であり、改めて接種勧奨の重要性を認識したところである。

**問**

対象年齢を過ぎた女性に対して、無料接種の再チャンスを与える救済措置についての市の考えは。

**答**

国の方針が決定された次第、速やかに準備する。

国からの通知によると積極的な勧奨の差控えにより接種機会を逃した方への対応については、予防接種・ワクチン分科会において、公費による接種機会の提供等に向けての議論を開始したところであるとされている。

本市では、今後国の方針が決定され次第、速やかに対応できるよう、予算措置など適切な準備を進めたいと考えている。

平成12年から15年度生まれのほとんどが接種しないまま定期接種対象年齢を超えており、この世代が接種機会を失ったままでは子宮頸がんの罹患者は約1万7,000人、死亡者は約4,000人増加する可能性が示唆されています。





拉致問題早期解決のために  
まず、ブルーリボンバッジ着用を！

森川 建司 議員



(答弁) 啓発期間中ではないが、すでに着用している

**問**

拉致被害者とその家族が高齢化し、

一刻の猶予もない中、平成15年に「大政由美さん連絡会」を立ち上げ、拉致問題解決に取り組んできた本市としても、国・県と連携し、心を一つにして、「市としてできることは何でもやる」の気概で取り組み、「今」まさに拉致問題をともに動かししてほしい。

啓発期間中にもまずは、市管理職員からブルーリボンバッジ(※)を着用し、市民に対しても着用を促しては。

**答**

ブルーリボンバッジの着用は、これまでの活動で醸成された機運をさらに高め、継続していくための有効な方策の一つと認識しているため、市グループウェアや部課長会での紹介など、様々な機会を捉え、着用に向け推進したところである。なお、本日(本会議

12月8日)も啓発期間中ではないが、出席職員はブルーリボンバッジを着用している。

啓発期間中の取り組みについては、これまで広報やホームページを活用し、広く周知に努めている。

今後は、啓発期間中以外にも継続した取り組みにより世論の高まりに繋がりたい。いずれにしても拉致問題は重大な国家の侵略であり、人権侵害である。絶対に許されず、風化させずに伝えることが重要と認識している。



(※) 北朝鮮にいる拉致被害者と家族を結ぶ「青い空」と日本と北朝鮮を隔てる「日本海の青」をイメージしたバッジ。被害者の生存と救出を信じる意思表示として広く着用されている。

**問**

市内小中学校や公民館等に啓発ポスターを掲示しては。また、作文コンクールの応募数と来年度の取り組みは。

**答**

既に啓発週間に併せて掲示依頼を行っている。

市内小中学校、公民館等へのポスター掲示については、既に、北朝鮮人権侵害問題啓発週間に併せて掲示依頼を行っている。今年度の作文コンクールの応募はなかったが、来年度はこれまでと同様、各中学校へ周知し、応募依頼をする。

**問**

義務的経費を減らし投資的経費の増額を

本市の財政は、人件費や扶助費などの義務的経費の割合が年々増加し、硬直化している。これまで聖域であった義務的経費を抑制し、将来への投資的経費の増額が必要では。直近3年間の人件費の推移と市単独の社会保障関係事業数、今後の抑制策は。

**答**

義務的経費削減は極めて慎重な検討が必要である。

人件費の直近3年間は

**問**

12月の補正予算で自立支援給付費と障害児通所給付費が約10億1600万円、2億4100万円と大きく伸びているが、その要因と給付の効果は。

**答**

利用者増と報酬改定の影響があったと考えられる。

増加理由は、利用者の増加と報酬改定があったことが考えられる。効果としては、地域移行や社会参加に繋がること、地域社会への参加・包摂の推進が図られることなどが挙げられる。

# 道路反射鏡(カーブミラー)の管理 早期に管理台帳作成を!



正岡 満 議員

## (答弁) 今後、台帳作成に努めたい

**問** 道路反射鏡本体の寿命は条件によるが、おおよそ30年と言われている。言いつに及ばず、事故を防ぐ意味において大変重要なものであるが、中には管理が行き届かず、鏡自体が汚れ、さび付いているものも多く見かける。

伊予交通安全協会各支部の通年事業として、道路反射鏡の設置、補修の支援活動を行っているが、現実的に公に設置されたもの以外、全て把握するのは困難である。近隣自治体のように今後長期で管理していくうえでは、管理台帳の作成が急務と考える。

設置に関するこれまでの経緯と委託する手段も含め、早期に管理台帳作成に着手しては。

**答** 平成30年度以降、市が設置するよう

になってからは、管理番号や設置場所、鏡面・支

柱の規格、設置年月日等を記載した管理台帳により、適切な管理に努めているが、それ以前のもは、交通安全協会や地域に設置をお願いしていた経緯もあり、台帳を作成できていない。

今後、全ての道路反射鏡を適切に管理していくためには、管理台帳の作成は欠かせないことから、交通安全協会の御理解と御協力も踏まえて、台帳の作成に努めたい。



市内には早期に修繕が必要な道路反射鏡が数多く残っている。

### 粗大ごみ不法投棄の対処

**問** 本市のこれまでの不法投棄の対策と

して、監視カメラや看板等を設置していることは承知しており、一定の効果はあると思われるが、実際に調査すると、中には管理が行き届いていないものもある。また、監視カメラが設置されているにもかかわらず、不法投棄がされている場所もあり、今後そのような点もどのように対処していくかが問題だと考える。

不法投棄の現状と過去10年間の実績は。

**答** 年平均8立方メートルのコンテナ5箱分を回収している。

不法投棄の現状は、ここ数年はテレビ、冷蔵庫等家電製品の大規模な不法投棄は減少しているものの、山間部や空き地、道路沿い等へ生活系家庭ごみが大量に捨てられている実例が多く発生している。また、回収実績は年平均して8立方メートルのコンテナ5箱分の投棄物を回収している。

**問** 今後、不法投棄を許さない対策として、全市民の協力が不可欠になると考えるが、本市として、どのように対応する考えか。

**答** 通報や自警等の市民参加を求め協働体制を形成する。

不法投棄の未然防止を図るため、職員によるパトロールを週2日程度行い、要望等に応じて不法投棄禁止看板の配付、設置を行っているが、全域の不法投棄を根絶することは困難であり、ご指摘のとおり市民の協力が不可欠である。

今後についても、通報や自警等の市民参加を求め、協働体制を形成しつつ、県や警察等の関係機関の協力をいただき、不法投棄の防止対策や被害にあったときの対処方法の研修会を設ける等、より一層不法投棄防止の推進に努めたい。

県内初の取り組みを！

# 「夜間避難訓練」を実施しては？



田中 慎之介議員

## (答弁) 防災会等による訓練での導入を研究する

### 問

本市は、相対的にみると災害の少ないうちであり、だからと言って、もちろん油断してはいけないが、それが魅力の一つだと思つ。

今回の提案は至極明快で「夜間に避難することができれば昼間ならさらにスムーズにできる」

災害が夜間に起きれば、昼間より困難なことが増えることは容易に想像できる。県内の各自治体もその必要性を感じながら、実際にはなかなか実行できていない。

災害の少ない本市が最初に取り組むことに大きな意義があると考え、ため、「夜間避難訓練」を一度実施してみたい。

### 答

これまで夜間の防災訓練は実施していない。しかし、災害はいつ起こるか分からないため、夜間における被災を想定した避難行動や救助活動など応急対応を体

験することで、昼間では気づかない問題を洗い出すことができれば有意義である。また、夜間に実施することで、これまで参加できていない住民の参加機会が増えることも期待できる。ただ、実施に当たっては、暗い夜道を歩くことに伴う安全配慮など解決すべき問題も出てくるかと想像されるが、市や自主防災会による訓練での導入を研究したい。今後も皆さんが興味をもって参加できる訓練となるよう配慮する所存である。

使用料を夜間に食べ、子どもたちも定着させたい。楽しいイベントになり、楽しかった「思い出の道」となることを大人になっても覚えておくことで命を救う。夜間避難訓練は大きなメリットになると思います。



## 通学区区域制度の弾力的運用

### 問

「校区外の学校のほうが校区内の学校よりも距離が近い」場合や「校区外の学校のほうが校区内の学校よりも安全に通学できる」場合において、進学する学校の「選択」を認めては。

また、国の通達で認められている「地理的な理由」だけが、本市の規則において、校区外通学が認められる要件から外れている理由は。

### 答

地理的要因による不都合は解消できている。

本市の校区外通学が認められている要件は、合



防災意識の高まりもあり、予想以上の人数が参加していた中村地区(8地区合同)自主防災訓練の様子(令和3年11月23日開催)

理的な配慮の範囲内としており、各学校の通学区域は、行政区と行政区に基づく生活基盤を大前提として定めている。そこで生じる居住地と学校との距離の差についても、行政区や生活基盤の優先を原則とすることで理解をいただいている。

遠距離の場合の利便の確保も、バス通学や運賃の補助で対応していることから、地理的要因による不都合は解消できていると認識している。

今回の要望を取り入れた場合、学校と地域社会との結びつきの弱体化に繋がり、小規模校の学校存続の危機などの問題が起る可能性があり、ひいては学校の序列化、学校間の格差の発生など、決して望ましい状況にはならないことが想定される。現段階では、小中学校の統廃合も視野に入れ、市内13校の存続を第一に考え、努力する。

# 光ファイバの整備計画 今後の見通しは？



田中 弘 議員

**(答弁) 令和6年度末の完成予定である**

**問** 光ファイバ整備の質問については、これまで何回も行ってき

たが、12月議会において、事業費9.8億円が計上されたことで、早期整備に向けての方向性が示されたと確信している。

広報委員アンケートにおいても、通信環境の整備により、地域医療・過疎・地域振興等、期待する意見が多くある。

今後における整備方法や完成予定の見通しは。

**答** 整備の方法については、民間事業者が実施主体となつてブロードバンド網の整備を行い、これに対する費用を市が支援する「民設民営方式」での整備を予定している。

今回、全ての未整備エリアを対象としており、希望する家庭に専用線を引き込むことにより高速通信が利用できる環境となる。

完成予定については、現在のところ、令和4年度から3か年での整備とし、令和6年度末の完成予定としている。

なお、完成時期については、国の補助制度の動向等により変動の可能性がある。

小・中学校の保護者に対するアンケートでは、7割以上が接続しており、子どもが学習に支障がないと思います。



## 有害鳥獣捕獲

**問** 最近、イノシシやニホンジカが目撃情報が多く、中でもイノシシによる農作物被害が拡大している。

本市の鳥獣害対策として、防護柵設置補助・新たな狩猟者の確保・免許取得経費支援・有害鳥獣駆除補助金など、多くの

支援を行っている。

被害の削減には、捕獲が最も成果を上げると思われ、捕獲期間の延長も必要と考えるが、今後の被害軽減の取り組みは。

**答** リモート式箱わなによる捕獲を試験運用した。

有害鳥獣による農作物等被害の軽減策については、県の実施方針に基づき、市の鳥獣被害防止対策協議会において、「攻め」「守り」「地域体制づくり」の3本柱による取り組みを実施している。

新たな取り組みとして、地域との連携を模索する中、佐礼谷地区の協力を得て、イノシシの群れをおびき寄せ、群れごと一網打尽に捕獲することができリモート式箱わなによる捕獲を本年4月から3か月間運用するなどして、令和2年度のイノシシの捕獲実績は1614頭、前年の約1.7倍となっている。

これら事業の効果として、過去5年間を通してみると被害額は減少傾向にある。今後も「攻め」「守り」「地域体制づくり」の3つの柱からなる事業をバランスよく展開し、併せて地域の自発的な取り組みをベースとした住民参加による活動を促進することで、被害額を減少方向に安定させることへ、粘り強く取り組む考えである。

有害鳥獣による農作物の被害面積(過去2年間)

年度	被害面積	被害額
令和元年度	3460アール	1,616万8,000円
令和2年度	2987アール	1,627万6,000円



箱わなで捕獲したイノシシ

令和2年度における有害鳥獣の捕獲頭数

鳥 獣	捕獲頭数
イノシシ	355
タヌキ	48
ハクビシン	37
ニホンジカ	5
カラス	1

## 連載企画 最終回

今期もやりますー！

# 議員のよこがお

- ①下吾川(新川)
- ②一人はみんなのために みんなは一人のために(one for all, all for one)
- ③愛媛森林公園(四季折々の豊かな自然が心ゆくまで楽しめます！)
- ④「チーム伊予市」として、市民の命と健康を守ることに全力で取り組み、関心や信頼を得られるよう開かれた議会・市民参画を推進する議会を目指します。



ひの たけひと  
白野 猛仁 議員

- ①大平
- ②初心忘るべからず
- ③新田神社／平岡・赤海街道の桜並木
- ④初心を忘れず、感謝の気持ちをもって皆様の声を聞き、話し、考え、「行動する 信頼される議員」として、議会活動を進めてまいります。

たにもと かつとし  
谷本 勝俊 議員



- ①大平
- ②誠実
- ③伊予灘サービスエリア(上り)
- ④議会で最年長となり、身の引き締まる思いです。市民の皆様の意見に対し、誠実に努めるとともに、議会においてもスムーズな運営に努めていきます。



さがわ あきお  
佐川 秋夫 議員

- ①中山町中山
- ②自分のことより相手のこと
- ③秦皇山／栗の里公園 永木三島神社
- ④話し合いで地域活性化を目指します。また、これからも地域の産業を守るため邁進します。

たけち みのも  
武智 実 議員



- ①中山町中山
- ②一期一会
- ③黒岩山(標高699mで四季折々に新緑、紅葉、冬には白い雪化粧する山です。この素晴らしい山で時間を忘れ森林浴を楽しみリフレッシュしてはどうですか?)
- ④若者、高齢者、障がいのある人たちが安心・安全で暮らせる地域づくり、皆様のご意見に耳を傾け、それを反映し、本市を少しでも良くしたいと思っています。



たなか ひろむ  
田中 弘 議員

市民の皆様へ伊予市の議員を少しでも身近に感じていただくために今期も全員の簡単な自己紹介をします！

- ① 住まい
- ② 座右の銘
- ③ 伊予市のおすすめスポット
- ④ 市民のみなさまへ！

## ご意見お待ちしています！

『議会だより』に関するご意見やご要望などがありましたら、今後の参考とさせていただきますので、いつでもご連絡ください！

お気軽にいつでもどうぞ！



よしひさ委員長

### 【連絡先】

〒799-3193  
伊予市米湊820番地  
伊予市議会事務局内  
広報調査特別委員会  
(TEL) 982-6551  
(FAX) 982-1205

## 議会報告会 を開催します！

地区名	開催日	時間	場所
郡中地区	2月20日(日)	午前10時	市役所4階 大会議室
北山崎地区	2月27日(日)	午前10時	中村地区公民館2階 大会議室
南伊予地区	2月27日(日)	午前10時	上野地区公民館3階 大会議室
中山地区	2月22日(火)	午後7時	中山地域事務所2階 大ホール
双海地区	上灘	2月13日(日)	未定
	下灘	2月18日(金)	未定

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止する場合があります。

どの会場でも参加は自由ですので、ご近所お誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。議員一同お待ちしております！



かわぐち  
議会改革特別委員会  
副委員長

# きらきら・部活 い〜よ 第1回



かわぐち委員

今回から新連載企画を始めました！これから市内中学校の部活動取材させていただきます！皆さん待っててくださいね！



部員数：23人(男子1人・女子22人)  
活動日：平日は4日、土・日いずれかの半日  
※取材日は3人欠席しております。

●部活の目標は？  
人を感動させるような音楽づくりとお互いに成長し合える活動をしていくことです。また、学年を問わず仲が良く笑顔があふれているところが自慢です！

●演奏をするうえで大切にしていることは？  
自分の音色に耳を傾け、しっかりとピッチを合わせて表現することです。

★部長・岡本さん、副部長・都田さん、フルートパトリリーダー・中村さんに聞いてみました！

●なぜ吹奏楽部を選んだの？  
(岡)音楽が好きだから。  
(都)音楽が好きだから。  
(中)小学校の時にも楽器を吹いていたので。

●各自の目標は？  
(岡)美しい響きの音色にする。

(都) いい音で演奏できるようにする。  
(中) お手本になれるような人になる。

●高校では何部に入る？  
(3人) 吹奏楽部！

●議会や議員って知ってる？  
(3人) 知っています！詳しいことは分からないけど…(笑)

★唯一の男子部員・金田直人君にも聞いてみました！

●なぜ吹奏楽部を選んだの？ 男子一人でさみしくない？  
(金) 何となく面白そうだなと思いましたが、男子一人ですが、楽しんでいきます！



クラリネット担当です！



「心響音」と書かれたお揃いのウィンドブレーカーを着て、一人ひとりがいい音をつくり出そうと毎日努力しています！

●楽譜は読めますか？  
(金) 少しずつ読めるようになります！

★顧問の本馬先生から一言！  
5年前に全国大会に出場した時は、約65人の部員がいて長時間の練習をしていました。  
現在はコロナ禍で部活動の時間が短く、体幹トレーニングやパート練習の時間も十分に取れず、合奏練習もできない状態です。練習時間と成績は比例します。短い時間の中で効果的に練習をし、生徒と共に感動してもらえる音楽をつくりあげたいと考えています。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
今年寅年ですが、その中でも5種類あると伝えられている壬寅(みずのえとら)と呼ばれる「優しい寅」の年だそうです。ご興味のある方はぜひ調べてみてください！  
今号から新しい連載企画「きらきら・部活い〜よ」が始まりました。これからも市民の皆様親しみやすく分かりやすい議会だよりを目指して頑張ります。

議会広報調査特別委員会 (委員長) 吉久俊介 (副委員長) 森川建司  
(委員) 川口和代 向井哲哉 平岡清樹 大野鎮司



おおの委員